

『税金とこれからの社会』

宮代町立百間中学校 3年 須藤 有咲

先日、参議院議員選挙が実施されました。選挙のことは私もよく耳にしました。その立候補した党の中に減税や税金の廃止を訴えるところがありました。私は単純に消費税などの負担が減って、嬉しいものなのではないかと考えていました。しかし、この作文を書くにあたって、改めて税の働きを調べてみました。税金は、国民の「健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う、道路や橋などの整備、警察、教育、社会保障などの活動の財源となっているそうです。私は特に注目したことが二つあります。

一つ目は、「教育」についてです。税金は、公立の小・中学校の場合、教科書やタブレット、実験器具や体育用具などに使われています。普段から当たり前のように使い、通っている学校にも、税金がかかっていることを知りました。インターネットで調べてみると、子供を一人育てるのにかかる一生のお金は、約二千万～四千万程度だと知りました。私は三人兄弟なので、一生に一億二千万円かかることになります。姉は大学生、兄は来年から専門学校生、私は私立高校に行きたいと考えています。これからどんどんお金がかかることを実感し、両親にお金について聞いてみました。そこで教えてくれたのが、奨学金と私立高校の授業料無償化です。姉と兄は、奨学金をもらいながら、学校に通っています。調べてみると、奨学金や私立高校の授業料無償化も大部分が税金によって賄われていることが分かりました。そこから私は、お金の問題に関係なく、子供がやりたいことや夢に向けて、学べる環境は税金によって支えられているのだと思いました。

二つ目は、「医療」についてです。私の住む宮代町では、高校三年生まで、医療費の無償化が行われています。以前、母が病気になったときには、「高額医療費」「指定難病医療費」などを利用しました。また、予防接種や健康診断なども税金で支払われています。病気にかかった際も健康を維持する活動にも、税金は大きな役割を果たしていることが分かりました。

私は、税金に対して悪い印象をもっていました。私達が豊かな生活を送るためには必要不可欠で、国民としても会費のようなものだと考えるようになりました。なので、私達が納める税金がどのように使われているのかしっかりと理解して、税金を納めていきたいです。また、政治と直接関われなくても、私達が大切に納めた税金を、最大限に活かせるような人を選挙で選んでいくことも大切だと思いました。